

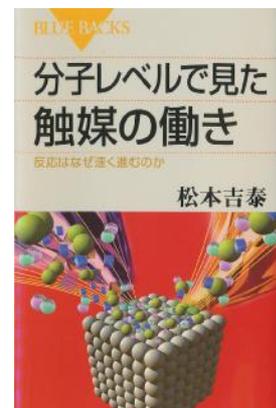
第21回 理科サロン

表面反応は地球を救えるか？



京都大学大学院理学研究科 教授

松本 吉泰 先生



人口爆発による食糧・エネルギー危機に環境問題と、私達は大きな問題に直面しています。19世紀初頭にも同様な食糧危機が叫ばれ、この危機が回避されたのは**触媒**という物質の表面で起きる反応でした。そして、現在、自動車の排ガスの有害物質を除去して環境を守っているのも触媒です。また、今後の持続可能な社会を形成する上で不可欠な太陽電池、人工光合成、燃料電池などにも物質の表面や界面が大きな役割を果たしています。この意味でいろんな問題を抱える近未来の社会を救うのもきっと触媒上での表面反応でしょう。

今回は、触媒が果たしてきた歴史的な役割と、原子・分子といったミクロな立場から触媒表面での反応機構を解明しようとする最近の研究についてお話しします。

(*松本先生は、親しみやすいブルーバックシリーズの本を講談社から出版されましたー右上写真。)

日時：10月2日(金)

午後6時～8時 サロン

午後6時半までは松本先生
を囲んで夕食(*)

場所：けやきの会事務所 →

豊中市千里園2-1-37

(電話 06-6857-2562)

参加費：無料

* 夕食は各人で買ってご持参下さい。

飲み物は用意しています。また、

時間ぎりぎりになられる方のために

軽食を用意しています。

